

平成28年度第2回袖ヶ浦市子ども・子育て支援会議

1 開催日時 平成28年8月4日(木) 午前10時開会

2 開催場所 市役所旧館3階大会議室

3 出席委員

委員長	片倉 憲太郎	委員	佐々木 まさ子
副委員長	田中 直子	委員	和田 操
委員	岡田 康正	委員	進藤 節子
委員	竹元 悦子	委員	大熊 賢滋
委員	小島 直子	委員	藤元 晃
委員	松村 陽一	委員	石井 千香
委員	神崎 保	委員	関本 智子
委員	吉田 恭子	委員	赤時 麻衣子

4 欠席委員

委員	中山 恵美子	委員	藤野 宜英
委員	小熊 良	委員	石井 和夫

5 出席職員

福祉部長	宮嶋 亮二
子育て支援課長	今関 磨美
子育て支援課副課長(こども家庭班長事務取扱)	田中 敦則
子育て支援課副課長(子育て環境推進班長事務取扱)	竹川 義治
子育て支援課子育て環境推進班 主査	地曳 雅樹
子育て支援課子育て環境推進班 主任主事	川島 秀之
保育課長	小阪 潤一郎
保育課副課長(保育班長事務取扱)	高浦 正充
学校教育課副課長(学事保健班長事務取扱)	泉水 雄一郎
健康推進課すこやか親子班 総括保健師	茂木 敬子

6 傍聴定員と傍聴人数

傍聴定員	5人
傍聴人数	1人

7 議題

(1) 子育て応援プランの進捗状況について

①次世代育成支援行動計画の進捗状況について

②子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について

(2) その他

8 議事

1 開会

事務局

皆様、本日は、お忙しいところお集まりいただき、ありがとうございます。
ただ今より、「平成28年度第2回袖ヶ浦市子ども・子育て支援会議」を開催いたします。
片倉委員長から、ご挨拶をお願いいたします。

2 委員長挨拶

片倉委員長

おはようございます。

先月28日に梅雨明け宣言がなされ、本格的な暑さの季節を迎えました。皆様におかれましては、水分や栄養、そして睡眠をしっかりとっていただき、この暑さを乗り越えていただきたいと思えます。やはりこのような暑い中では、水分は気を付けて取りますが、塩分は中々取れないという方もいらっしゃると思います。救急搬送される方の中には水分は取っていたけれども、塩分を十分に取っていなかったという報告もありますので、ある程度塩分をとることも必要ですので、塩分を取りながら、この暑さを乗り切っていただければと思います。

また、皆様ご承知のとおり、明日からいよいよ第31回リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックが開催され、本日のサッカー、対ナイジェリア戦からスタートします。日本選手団の多くが現地入りしており、開会式を待っているというような状況です。日本選手のみなさんが日頃の成果を十分に発揮されまして、普段どおりの力を精一杯出していただければと願っております。

先日、ベネッセの教育総合研究所が発表した2015年の資料で子どもと幼児の生活のアンケートの中に気になったことがありました。このアンケートは4,000人を対象にした、小さいお子さんが誰と一番遊んでいるのか、そういったアンケート内容で、お母さんとの遊びが中心である、という回答が55%から86%に大きく伸びているという結果が出ておりました。一方で、友達と遊ぶということが、今までの約56%から27%に下がっているとのこと。このアンケート結果から地域の中にお子さんたちの遊び友達がいない、少ないということが、お母さんと過ごさなければならない、子どもたちの本来の幼児期の遊びがお母さんだけになってしまっている、というようなことが結果として表れています。また、お母さん方の子育てに対する情報源が、母親、お母さん方の知人の情報、インターネットからの情報ということで、躰けとか、教育の情報も時代を反映しているというようなことも報告されておりました。このようなことから非常に少子高齢社会が如実に表れているという印象がございます。こういう社会の中で私たちが子どもたちをしっかりと守っていかなければならないとひしひしと感じております。

さて、本市では、昨年度に平成27年度から31年度までを計画期間とする子育て応援プランを策定いたしました。この計画の策定にあたっては、本市の子育て環境や市民ニーズを参考に各委員がそれぞれの立場に立って意見を出し合い、十分議論をいたしました。本日の議題は、この計画の初年度であります平成27年度における進捗状況の報告ということになります。本計画は、子ども・子育て支援会議で点検と評価をするということになっております。計画のさらなる推進に向けて取り組んでいきますよう、よろしく願いをいたしまして、挨拶とさせていただきます。

資料確認・出席者確認・附属機関等の会議の公開について

事務局

ありがとうございました。

それでは、資料等の確認をさせていただきます。

事前に配布した資料といたしまして、「会議次第」、「資料1 袖ヶ浦市次世代育成支援行動計画

進捗状況（平成27年度末）、「資料2 袖ヶ浦市子ども・子育て支援事業計画進捗状況（平成27年度末）」、「参考資料1 施策体系図」、「参考資料2 平成27年度子育て環境推進の拡充内容について」です。

また、本日配布した資料といたしまして、「袖ヶ浦市子ども・子育て支援会議委員名簿」を配布させていただきます。

資料等は、以上でございますが、配布漏れはございませんか。

それでは、会議に移りたいと思います。

なお、本日、中山委員、藤野委員、小熊委員、石井和夫委員から所用により欠席する旨のご連絡をいただいております。

従いまして、本日の出席委員は、16名でございますが、委員の過半数が出席しておりますので、袖ヶ浦市子ども・子育て支援会議条例第6条第2項の規定により、会議は、成立しております。

次に、この会議は、公開となっております。本日の傍聴者1名につきましては、事前に申し込みをいただいておりますので、ご報告を申し上げます。

それでは、議題に入ります。

議事の進行は、子ども・子育て支援会議条例第6条第1項の規定により、委員長が議長として進行することになっております。

片倉委員長、よろしく願いいたします。

3 議 題

(1) 子育て応援プランの進捗状況について

①次世代育成支援行動計画の進捗状況について

片倉議長

それでは、議題に入ります。

議題（1）子育て応援プランの進捗状況について、①次世代育成支援行動計画の進捗状況について、事務局より説明をお願いします。

事務局

それでは、議題（1）子育て応援プランの進捗状況について、①次世代育成支援行動計画の進捗状況について、説明いたします。

袖ヶ浦市次世代育成支援行動計画は、平成27年度から平成31年度までの5か年の計画となります。国の指針によりまして、この計画に掲載している個別事業の進捗状況について、点検評価することとなっております。事業の進捗状況は、本日の子ども・子育て支援会議に報告した後、市ホームページで公表いたします。

参考資料1の施策体系図をご覧ください。

1ページに「計画の基本理念」、「計画の基本方針」に続き、「I 地域における子育ての支援」とあります。この計画では、7つの基本目標を定めております。その基本目標の下に個別事業があり、全部で99事業あります。

資料1をご覧ください。

上段の右側に評価とありますが、事業の進捗状況について、それぞれ評価を行っております。事業の担当課に調査を依頼し、担当課による評価を行っております。評価基準につきましては、Aが計画を上回って進んだ、Bが計画どおり、Cが概ね計画どおり、Dが計画どおり進んでいない、となっております。

また、表の一番左に「新」とございますのは、前計画である「次世代育成支援後期行動計画」の計画事業に掲げられていない事業を新たに本計画の計画事業として掲げた事業を表しています。

それでは、基本目標ごとに説明いたします。

「Ⅰ 地域における子育ての支援」35事業については、A評価1事業、B評価33事業、C評価1事業となっております。

このうち平成27年度に拡充された事業など主な内容について説明します。

「事業1-1、放課後児童クラブの環境改善」につきましては、当初の計画では平成28年度に開設見込みでありましたが、計画よりも早く平成28年3月に長浦地区の蔵波小学校区に「子ども会館フレンドクラブ」が完成し、運営を開始しました。よって、評価はAとしています。

「事業1-6、病後児保育」、3ページの「事業1-16、待機児童解消のための保育所等の整備」、「事業1-19、延長保育」、「事業1-23 私立保育園の支援」、「事業1-24 保育士等の資質・専門性の向上・保育基盤の強化」につきましては、平成27年4月に「私立大空保育園」が開園し、保育施設が1箇所整備されたことに伴い、実績値がそれぞれ上昇しております。

2ページをご覧ください。

「事業1-13、幼稚園における預かり保育」につきましては、私立幼稚園では、すでに実施しております。市立幼稚園においては、幼稚園の統合など幼保連携の取り組みの中で引き続き検討することで、評価はCとしています。

3ページをご覧ください。

「事業1-17、待機児童解消のための地域型保育事業の推進」につきましては、平成28年1月に蔵波地区において小規模保育事業「私立みどりの風保育園」が開園されたことにより、1箇所整備が進んでおります。

6ページをご覧ください。

「Ⅱ 母性並びに乳幼児等の健康の確保及び増進」13事業については、B評価12事業、C評価1事業となっております。

8ページをご覧ください。

「Ⅲ 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備」14事業については、A評価が1事業、B評価が13事業となっております。

10ページをご覧ください。

「Ⅳ 子育てを支援する生活環境の整備」4事業については、B評価3事業、C評価1事業となっております。

「事業4-2、「安全な道路交通環境の整備」については、国からの交付金が減額されていることから、計画を変更して進めており、評価Cとしています。

「事業4-3、「市交通バリアフリー基本構想」での重点整備地区の整備」について、平成27年度に袖ヶ浦駅周辺地区において駅舎及び南北自由通路が3ヵ年事業として計画どおり完成しており、評価Bとしています。

11ページをご覧ください。

「Ⅴ 職業生活と家庭生活との両立の支援」3事業については、B評価1事業、C評価2事業となっております。

12ページをご覧ください。

「Ⅵ 子どもの安全の確保」11事業については、B評価10事業、C評価1事業となっております。

13ページをご覧ください。

「事業6-8、小中学校における児童生徒の防犯講習会・啓発」につきましては、防犯講習会自体は実施していませんが、交通安全教室の一部に防犯講習のプログラムを組み込んで啓発活動を実施していることから、評価Cとしています。

14ページをご覧ください。

「Ⅶ 要支援児童への対応などきめ細かな取り組みの推進」19事業については、すべてB評価

となっております、計画どおり進捗しております。

以上、99事業全体で見ますと、評価がすべてABCとなっております、事業は計画どおり進んでいるものと考えております。

今後も進捗状況の点検確認を常に行いながら、事業の推進を図ってまいりたいと考えております。

最後に、参考資料2として平成27年度の子育て環境推進の拡充内容について、資料1から抜粋して記載させていただきましたのでご参照ください。

議題(1)①の説明は、以上です。

【 質疑・応答 】

片倉議長

ただ今、次世代育成支援行動計画の進捗状況について、説明がありました。

ただ今の内容について、ご質問、ご意見等があれば、お願いいたします。

はい、竹元委員。

竹元委員

待機児童対策として保育園が増えるということは凄くいいことだと思うんですけども、保育の内容的なものはどうなのか、新しくできたところでは保育園の職員体制が問題となるのではないかと、思います。開園当初は、保育士の先生方も大変かと思いますが、子どもたちや保護者が心配しないような体制づくりはどのように行っているのか、お話ししたいかと思います。

片倉議長

事務局、答弁をお願いします。

事務局

新しい保育園において職員体制はどうなっているのか、ということでございますけれども、この件につきましては、支障なく、お預かりいただいておりますし、待機児童対策として、弾力的な運用で定員を超える人数を問題なく、預かっていただいておりますので、その辺のご心配はないのではないかと考えております。

片倉議長

はい、多分私の方にも関係あるかなと思いますので、答弁させていただきます。

昨年開園しました大空保育園の場合は、35名くらいの職員体制ということでスタートしました。その後若干退職者が出たということは確かだと思います。職員を募集する際には、新卒の学生や途中で他の幼稚園や保育園から移ってくる保育士、幼稚園教諭の方がいますが、今までの保育経験の中で、自分が思っていた保育に対する考え方、そういうことが違うということもございます。また、園長の考えと職員の考えが一致しない場合は、やはり従来の自分の固定概念としての考え方と若干の食い違いが生まれることがあります。やはり今の保育士さん、幼稚園教諭の方はほとんど妥協しませんので、どうしても自分の考えに合わないということになってしまうと退職の道に繋がるのかな、というように思っております。しかしながら、お子様を預かるうえでただ辞めていくということが正しいのかと言えば、決してそんなことはございません。園内研修、また園外研修として千葉県の研究大会やその他研究発表会などにもどんどん出させております。そういうことで施設内研修も常々やるようにしています。先ほど事務局からお話したように、定員は120名ですが、113%くらいでしょうか、定員を上回ってお子さんが入所されておりますけれども、その中でも0歳から2歳の低年齢の方についての乳幼児保育については、職員間で十分に話し合いをさせております。

日々の保育の中で、決してお子さんにマイナスの面があってはいけないということで、保護者の皆さんと十分に意見交換を行うようにしています。朝夕の送迎時の引き渡し時間にはしっかりと保護者の方に今日の様子であるとか、或いはその健康状態とか、或いは食事状態とか、職員一人ひとりからお母さん方に十分伝えることを現在も行っております。新しい職員に対しても新人研修等の充実を図っていききたいというように考えています。よろしいでしょうか。

はい、その他にありますか。

はい、事務局、お願いします。

事務局

すいません、今、開設当初の課題についての質疑がありましたが、私ども事務局の方もしっかりとお答えしなければならないと考えておりますので、お時間をいただきたいと思っております。

認可保育所につきましては、私ども開設当時には、例えば保護者の苦情等が園の方に直接ある場合もございますし、私どものところにある場合もございますが、私ども協力してその解決に向けてあたっていくわけですが、ただ今のようなことにつきましては私どもで承っているようなことはありません。お辞めになったとかそういうことではなく、保護者の方からの苦情等はないということでございます。そして、もう一つ、園の運営につきましては、千葉県がしっかりと毎年監査を行っております。私ども市の方も同行させていただきまして、園の運営等についていろいろお話を伺いし、ご協力できるところは市としても責任をもって対応していくというように考えております。お子様方に対する人員の配置、処遇等について苦情があれば、その対応の状況等も伺って進めてまいりたいと考えております。委員長からは細部に至る情報提供を頂戴し、ありがとうございました。今後もご協力をさせていただきたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。以上でございます。

片倉議長

よろしいでしょうか。他にございませんか。

はい、それではないようですので、①次世代育成支援行動計画の進捗状況についての議題を終了いたします。

(1) 子育て応援プランの進捗状況について

②子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について

片倉議長

次に、議題（1）子育て応援プランの進捗状況について、②子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について、事務局より説明をお願いします。

事務局

それでは、議題（1）子育て応援プランの進捗状況について、②子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について、説明いたします。

こちらの計画は、平成27年度に「子ども・子育て支援新制度」がスタートしたことに伴い、幼児期の学校教育や保育、子育て支援などに関するニーズを把握し、適切なサービスの確保を行うことを目的として新たに策定されたものです。この計画をもとに、これまで以上に安心して子どもを産み育てられる環境を整備し、「質の高い幼児期の学校教育・保育の一体的な提供」や「地域における子育て支援の充実」「保育の量的拡大」を推進します。

資料2をご覧ください。

表の左側、計画上の確保内容には、子ども・子育て支援事業計画に記載されている特定教育・保育施設の確保方策等を年度ごとに転記してあります。これに対し、表の右側は現在の確保状況とな

っております。保育の必要性有合計の確保方策計欄には1024と記載されていますが、前回の会議でもご説明しましたとおり、平成27年度に新たに確保した保育サービスである私立大空保育園の開設による120人、根形保育所の定員を90人から120人に変更したことによる30人、小規模保育事業私立みどりの風保育園の認可による19人を合計した169人の定員増加分を含んだ内容となっています。また、1号認定の教育サービスの確保量は、平成27年度において増減はなく、960人となっています。なお、2号認定と3号認定の確保方策の内訳が、計画と現状で乖離していますので、今後、計画の変更を行ってまいりたいと考えています。

2ページをご覧ください。

次に、地域子ども・子育て支援事業の確保内容について、説明します。

国の法律等のもと、全国の市町村がそれぞれの実態や特長を活かした取り組みを進めております。事業名の前にごぞいす黒い星印は、先ほどの次世代育成支援行動計画にも記載されている事業ですが、こちらの資料では提供量等を数値化して、より具体的に記載しています。

それでは、平成27年度末の実績について説明します。

まず、「事業1 時間外保育事業（延長保育事業）」についてですが、公立保育所5箇所、私立保育園4箇所で開催しており、延長保育年間実利用者数は、事業計画の提供量として622人を見込んでいたのに対し、390人の利用実績となりました。

次に「事業2 放課後児童健全育成事業」についてですが、事業計画の月当たり実利用者数550人に対し、626人の利用がありました。これは、長浦地区の蔵波小学校区に1施設が開設され、整備が進んだことによるものです。今後は、学校施設の活用についても検討し、提供体制の確保に努めてまいります。

「事業3 子育て短期支援事業」についてですが、こちらの事業は平成26年度から実施されておりますが、ショートステイ延べ利用量が23人日、実利用人数は6人となっていることから、今後ともニーズに適切に対応しつつ、施策を実施していきます。

「事業4 地域子育て支援拠点事業」についてですが、そでがうらこども館、私立保育園3箇所で開催している子育て支援センターの延べ利用者数は、23,523人、公立保育所のなかよし広場の延べ利用者数は、1,030人となっています。子育て支援センターの利用が多くなっており、地域の中での気軽な相談先のニーズが高いことがうかがえます。

「事業5 一時預かり事業（幼稚園における在園児を対象とした一時預かり）」についてですが、年間の利用量は、5,399人となっております。こちらの事業は、私立幼稚園2園での実績であり、市立幼稚園での実施については、3歳児保育などと合わせて、引き続き検討してまいります。

3ページをご覧ください。

「事業6 一時預かり事業（その他の一時預かり）」についてですが、私立大空保育園が1箇所増えたことなどから、一時預かりの年間延べ利用者数は、6,700人、休日保育が143人、ファミリーサポートセンターの利用件数が876件となっています。入所待ち児童の増加に伴い、利用者数も増加傾向にあることから、入所待ち児童対策を推進する中で、ニーズに適切に対応できるよう提供体制を整えてまいります。

「事業7 病児保育事業」についてですが、こちら一時預かり事業同様に私立大空保育園が開園されたことから、病後児保育の年間延べ利用者数は、590人となっています。病児保育については、引き続き実施に向けた検討を行ってまいります。

「事業8 利用者支援事業」についてですが、平成26年度から保育課で事業を開始していますが、27年度は、そでがうらこども館に職員が出向き、子育て支援の情報提供や相談・助言を行いました。

「事業9 妊婦に対する健康診査」についてですが、年間の妊娠届出人数は、606人、妊婦健康診受診回数は、6,022回です。ほぼ横ばいで推移していますが、ひらかわ健康福祉支援室を開設したことにより、保健指導体制の充実が図られました。

4 ページをご覧ください。

「事業10 乳児家庭全戸訪問事業」についてですが、保健師・助産師による訪問が504人、主任児童委員による訪問が56人で合計560人となっています。今後も対象者全数の訪問を目標として、異常の早期発見や新生児の養育上必要な発育、栄養、疾病予防等について訪問指導体制を継続してまいります。

議題（1）②の説明は以上です。

【 質疑・応答 】

片倉議長

ただ今、子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について、説明がありました。

ご質問、ご意見等はありませんか。

はい、赤時委員。

赤時委員

2 ページの「5 一時預かり事業（幼稚園における在園児を対象とした一時預かり）」で、市立幼稚園の保護者アンケートを実施した結果、預かり保育や給食の実施などの意見があり、今後とも引き続き検討を行います、となっていますが、これは一時預かり事業を実施するという期待してもよいのでしょうか。

片倉議長

はい、事務局、お願いします。

事務局

預かり保育の実施について今後期待してもよいのか、というお話ですが、確かに現在利用されている方からのご意見であり、ニーズがあるということ踏まえて、引き続き検討させていただき予定でございます。ただし、幼稚園の統合の準備を優先して進めていきたいという考えもありますので、決してこちらをないがしろにするという意味ではございませんが、そちらの方を優先的に進めていきたいということで考えておりますので、こちらについては引き続きの検討とさせていただきます。

片倉議長

よろしいですか。他にございますか。

はい、和田委員。

和田委員

2 ページの「2 放課後児童健全育成事業」ですが、今後の施設整備について、学校施設の活用についての検討を教育委員会と実施しました、とありますけれども、内容について具体的に教えていただけませんか。

片倉議長

事務局、答弁をお願いいたします。

事務局

ただ今ご質問のありました、学校施設の活用について、ということですが、こちらにつきまして

は、余裕教室の活用ということを前提に教育委員会の方と話し合いを進めておりまして、順次、手続きを進めてまいりたいと考えております。

和田委員

余裕教室を使ってどのような形で、例えば、そこで学童保育をやるとか、そういったことでしょうか。

事務局

はい、そのように考えています。

和田委員

そうしますと、今後は学校内にそのような施設を設けていきたいという考えがございますか。

事務局

それも含めて、トータルで考えていきたいということでございます。

和田委員

はい、わかりました。

片倉議長

よろしいですか。他にございますか。

はい、小島委員。

小島委員

4ページの「10 乳児家庭全戸訪問事業」ですが、これは直接関係がないかもしれませんが、要望として意見してもよろしいですか。

4か月の赤ちゃん訪問をさせていただいていますが、この表をみますと担当課が健康推進課と子育て支援課になっています。私たちは子育て支援課でお手伝いさせていただいていますが、健康推進課でも1歳半か、4歳かわからないのですが、母子保健推進委員の皆さんが訪問されています。その方たちと何か連携ができたらいいなと、今のところ顔も合わせたこともありませんし、活動内容も細かく伺ったことがないので、心配な家庭はずっと長くかかわれたらいいな、情報が共有できたら安心かなと思いますので、そういうことも考えていただけたらと思っております。以上です。

片倉議長

他にございますか。

はい、他に質問・意見がないようですので、②子ども・子育て支援事業計画の進捗状況についての議題を終了いたします。

(2) その他

片倉議長

次に、議題(2)その他について、事務局より説明をお願いします。

事務局

本日も貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。
事務局から連絡事項等はございません。

次回も引き続きよろしく願いいたします。

片倉議長

本日は、皆様の貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

本日の議事は、すべて終了いたしました。

進行を事務局に戻します。

4 閉会

事務局

片倉委員長、ありがとうございました。

本日の日程は、すべて終了いたしました。

以上をもちまして、平成28年度第2回袖ヶ浦市子ども・子育て支援会議を閉会いたします。

皆様、お疲れさまでした。